



地域包括支援センターです

■問合せ 地域包括支援センター(保健福祉課内) ☎ 47-8009
 社会福祉協議会地域包括支援センター(今庄福祉センター2階) ☎ 45-1170
 // 河野支所(河野保健福祉センター1階) ☎ 48-2260

～顔がつながる、心が通う、お互いさまのまちづくり～

「見守りについて、いろんな立場で語ろうかい(会)」を開催しました!

独居の方、高齢者世帯の方、医療や介護が必要な方等、すべての町民が住み慣れたまちで安心して暮らし続けることができるように、住民、商工関係、医療・介護、団体、行政機関等の全ての関係者の顔の見える関係づくりを目指して平成30年3月1日に「見守りについて、いろんな立場で語ろうかい(会)」を開催しました。

【参加された方】 計55名

医師・歯科医師・看護師・介護保険サービス提供事業所・ケアマネジャー、区長会・民生委員・老人クラブ・越前警察署・南越消防組合・消防団・社協・郵便局・JA 越前武生・県民生協・北陸近畿クボタ・福井銀行・福井ヤクルト・三和薬品・商工会・森林組合・行政機関等

【内 容】

山本内科医院 山本嘉治医師から「独居の高齢者を支えるために知っておくべきこと」についてのご講演および民生委員児童委員協議会 今村ゆみ子会長、今庄郵便局 京藤和也局長、県民せいきょう丹南きらめき 佐々木麻美総括施設長からの見守りの実践事例についての紹介をいただき、見守りのヒントを共有しました。

その後は、グループに分かれ、普段どんなことを気にかけているか、それぞれの立場で何ができるか等の情報交換を実施し、参加者からは「元気な高齢者が地域を支えよう」「普段からの信頼関係が大切」「普段からの生活状況の把握が見守りや災害時等に役立つ」「顔の見える関係ができた」等の意見が聞かれました。

※「語ろうかい(会)」はご近所・商店・医療・介護等の全ての関係者による地域ケア会議として実施し、地域見守り体制づくり会議と顔の見える町内多職種連携会議を併催しました。



流動創生

東京・六本木にある国際大学グローバル・コミュニケーション・センターにて、2月15日に「ソシエテ・リベルテ『複属化する社会と関係人口～都市と地方の関わりしろ～』」が開催されました。約30名が参加する中、事例発表のご依頼をいただき、流動創生事業についてお話ししました。参加者からは「連携していきたい」「都市と地方を行き来すると言っていることが多い中で、地方同士を繋ぐというのが他に参考になる」といった声がありました。

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生 検索 <https://www.facebook.com/ryoudousousei>

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013



北前船主の館右近家 ゴールデンウィーク特別企画

【日本遺産認定 1周年記念企画】4月28日土 限定

ハンドタオル・ポケットティッシュ 先着100名様プレゼント

【ゴールデンウィーク期間イベント】

☆印半纏しるしはんてんを着て記念撮影

(時間) 午前9時から午後4時まで

(場所) 右近家館内

☆ペーパークラフト・網掛け体験

(受付) 午前10時から午後3時まで

(場所) 西洋館和室



1日5組限定
<体験料>
500円

- 5月4日(祝・金)、5月6日(日)
ペーパークラフト体験
小人対象(小学生~中学生)
- 5月5日(土)
親子網掛け体験

1日5名限定
<体験料>
500円

■ 問合せ 北前船主の館 右近家 ☎ 48-2196
観光まちづくり課 ☎ 47-8002

米づくりから酒づくり 僕らの酒造りプロジェクト

田植えから酒仕込みまで、アナタの手で日本酒作ってみませんか？

日時：<初回> 田植え：5月26日(土)
午前9時~午後5時

<以降> 稲刈り：10月
酒造り：平成31年1月
試飲会：平成31年3月に開催予定

場所：<初回> 山田農園(阿久和)の田んぼ
※詳細は申込者にお知らせします。

参加費：13,000円(全4回分)
※完成した日本酒(720ml×2本)をプレゼント

■ 申込み・問合せ
観光まちづくり課(地域おこし協力隊) ☎ 47-8013



南越前町産コシヒカリで作った「山田の本みりん」新発売!!

価格:500ml 1,300円(税込)

山田の本みりんは南越前町仙山・阿久和地区をメインに営農している新米農家「山田農園」が作ったコシヒカリを主原料に、愛知県の九重味淋(株)との共同開発によって生まれました。当園のみりんはコシヒカリ本来の甘みを活かすため、糖類は一切使用しておりません。お米本来の甘みが生きたみりんとなっております。

販売先：山田農園
住所：南越前町脇本28-4-1
連絡先：090-2778-3913
*自宅での販売のため、不在にすることもあります。お電話いただけると助かります。
*みりんはお酒です。20歳以上の年齢であることを確認できない場合には販売しません。



▲こちらは有料広告欄です

みんな
寄りっさ!

『介護予防のつどい』

介護予防のつどいは、だれでも気軽に参加できる“介護予防教室”です。
出かける事は元気を保ち、寝たきり予防・認知症予防にもなります。
声をかけあい、寄り合いましょう!

- 対象 おおむね65歳以上の方
(興味のある方であれば、年齢に関わらず、どなたでも参加できます)
- 内容 健康チェック(お体のことや介護の相談もできます)・転倒予防体操・
認知症予防体操・レクリエーション等(どなたでもできる内容です)
- 参加方法 申し込みは不要です。直接会場にお越しください。
どの会場でも参加できます!

毎週、みんなに会うのが
楽しみだね。



会場	開催日	講師
南条保健福祉センター	毎週月～金 13:30～15:30	看護師等
今庄商工会館	毎週水曜日 13:30～15:30	
河野地区コンビニエンスストア一体型施設 (ファミリーマート ^{プラス} ハーツ河野北前船主通り店) ※6月4日(月)からは河野地区公民館から会場が 変更になります。	毎週月曜日 13:30～15:30	

■問合せ 地域包括支援センター(保健福祉課内) ☎ 47-8009

流動創生

【田植えや町内イベントのお手伝いに東京在住の方などが参加しました】

4月28日～5月6日の期間で、町内滞在企画「StopOver23 日本どこでもいね週間」を開催しました。

古木の流動創生拠点に東京など各地から20名近い方が滞在し、町民の方々と一緒に田植え作業などの農作業、今庄駅前で開催された「えきまえほっこりフェスタ」出店のお手伝いなどに精を出しました。すでに数度目の町内滞在という方も多く、作業をする現場では「どうも、また来ました!」「久しぶり!じゃあ作業始めるよ。」といった挨拶が交わされていました。参加者の方々からは「いろいろな人と交流でき、とても有意義な時間でした!」「流動創生が行う南越前町イベントに初めて参加し、楽しすぎて大満足でした!畑仕事も手伝わせてもらえてよかったです!ぜひまた来たいと思いますので、よろしくお願ひします。」などといった声がありました。

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生 検索 <https://www.facebook.com/ryudousousei>

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013



7月1日付で地域おこし協力隊が2名着任しました

宇野 朱美 (34歳)

【プロフィール】 福井市出身。江守商事(株)に営業事務として14年勤務。働きながら、クラフトマーケットや町おこしイベントスタッフにボランティアとして参加してきました。



【活動内容】 都市と地方の連携で人の流れを作る流動創生事業を中心に取り組みます。

【活動の抱負】 流動創生事業(RoundTrip)への参加をきっかけに、住民の方々の優しさに触れ、興味を持ちました。地域活性化のために、都市部や他地域と南越前町を繋ぎ、特産品なども売り込んでいきたいと思っています。活動していく中で、色々とお伺いすることや助けて頂くことも多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

北村 明日香 (33歳)

【プロフィール】 愛知県出身。土産を中心とする小売業に勤め、商品の仕入や店舗運営、マネージャー等を経験してきました。



【活動内容】 観光連盟業務など、観光を通じた町の魅力向上に取り組みます。

【活動の抱負】 旅行が好きで観光に関わる仕事に興味があり志願しました。南越前町を多くの方に知ってもらい足を運んでもらえるよう、女性目線でのパンフレット作成、SNSの活用等、魅力の発信に取り組んでいきたいと考えています。南越前町のことをもっと知りたいため、皆様にはご協力をお願いすることもありますが、よろしくお願いいたします。

2年目、3年目隊員の活動内容

中谷 翔 (29歳)

(平成28年4月着任)

【活動内容】

空き家を活用した宿泊施設の開業



今庄宿内の空き家(玉村家)を使って、旅人と地域住民が交流できる宿屋の開業に向けて取り組んでいます。また、開業後には旅人が地域のありのままを体験できるような体験プログラムを実施するため、今から様々な資源を体験してもらうプログラムを提供しています。

詳細・最新情報については「旧玉村邸活用プロジェクト」をインターネットで検索ください。

門田 和也 (28歳)

(平成29年5月着任)

【活動内容】

移住促進、温浴施設連携企画



「移住促進」では、移住希望者向けのパンフレット作成や都市部で出張相談会を行い、今年度は新たにオーダーメイド型移住体験ツアー、Instagramを開始しました。移住専用ホームページも制作中です。南越前町に来たい人が安心して来られるような町を目指して活動しています。「温浴施設連携企画」では、前職のスーパー銭湯勤務の経験を活かし、町内の温浴施設の活性化に繋がるような企画を実施する予定です。

参加者募集

どろんこバレーボール大会 2018 in 南越前町のハス田

日時 9月8日(土) 午前11時～午後3時

会場 南越前町堂宮

参加料 1チーム(5名) 4,000円、1名 1,000円

※個人エントリー可。個人エントリー者でチーム結成。

※詳細は、「どろんこバレー 南越前」をインターネットで検索、または観光まちづくり課までお問合せください。



南越前町移住支援サイト～Instagram～

https://www.instagram.com/minamiechizencho_ijyu/?hl=ja

【退任のご挨拶】 山岸達也隊員は6月30日をもって、3年間の任期を終え活動を終了しました。流動創生事業の実施にあたっては、多くのご理解とご協力いただきました。3年間ご支援いただき、ありがとうございました。

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

戸籍の窓

人口と世帯 (平成 30 年 7 月 1 日現在 () は前月比)

総人口: 10,745 人 (-23) 男 5,176 人 (-14) 女 5,569 人 (-9) 世帯数: 3,470 世帯 (-3)
 [内、外国人: 69 人 (+2) 男 18 人 (±0) 女 51 人 (+2) 外国人世帯数: 37 世帯 (+2)]

お誕生おめでとう



受付 平成 30 年 6 月 1 日 ~ 6 月 30 日

北府	甲斐	白根	上平	南今	八幡	阿久	お
城	城	城	吹	庄	幡	和	く
野	山	井	橋	赤田	高岡	田	や
陸	健	留	幸	平	勝	善	み
治	一	夫	子	澤	さん	男	申
さん	さん	さん	さん	マ	さん	さん	し
				サ	さん	さん	上
78	86	71	81	ノ	さん	さん	げ
歳	歳	歳	歳	子	さん	さん	ま
				鶴	さん	さん	す
				子	さん	さん	
				さん	さん	さん	
				89	さん	さん	
				歳	さん	さん	
				80	さん	さん	
				歳	さん	さん	
				93	さん	さん	
				歳	さん	さん	



石川 斗晴くん (福荷(今庄))

父: 俊貢さん 母: 未来さん



寺川 頼廉くん (関ヶ鼻)

父: 聖羅さん 母: 優子さん



朝倉 慧太くん (山王)

父: 聖悦さん 母: 恵理さん

南条文化会館自主事業

一杯のカレーライスには、
 たくさんの命がまつていました。

ドキュメンタリー映画
カレーライスを一から作る

出演: 関野吉晴 / 武蔵野美術大学 関野ゼミ生

監督: 前田亜記 プロデューサー: 大島 新 撮影: 前田亜記 松井孝行 水上智恵子 編集: 大山中朝
 音楽: U-shuan 音楽効果: 金田智子 オンライン編集: 池田 聡 監修: 高木聖一 製作・配給: ネットゲン
 2016年/日本映画/カラー/96分/0.5ネットゲン

平成 30 年 8 月 19 日 (日) 南条文化会館 大ホール

① 午前の部 10:00 ~ ② 午後の部 14:00 ~

一般: 500 円 (当日 700 円) 高校生以下: 無料

チケット発売日 平成 30 年 7 月 10 日 (火)

主催: 南越前町、南越前町教育委員会 問合せ: 南条文化会館 07781-47-3810

全国瞬時警報システム 全国一斉情報伝達訓練 (J-ALERT)

南越前町全域において、国からの地震速報を受け自動的に各家庭の音声告知放送端末や、南えちぜんチャンネル、屋外拡声器で音声放送や文字放送が流れます。

訓練日時 8 月 29 日 (水) 午前 11 時 00 分

問合せ 総務課防災安全室 TEL 47-8016

宿場コネクト

~今庄朝立ち 木之本泊まり 中河内で昼弁当~

昨年に引き続き、余呉地域づくり協議会が長浜市地域おこし協力隊と南越前町地域おこし協力隊との共催により、宿場コネクトを開催します。一緒に街道の歩き旅を体験してみませんか。

- 日時 9 月 29 日 (土)
 午前 7 時出発 (受付: 午前 6 時 30 分 ~)
- コース (A) 鉄人コース (約 39 km)
 ① 木之本宿 → 今庄宿 ② 今庄宿 → 木之本宿
 (B) チャレンジコース
 (約 20 km / 往路のみ、復路は車使用)
 ③ 木之本宿 → 中河内宿 → 木之本宿
- 集合場所 ①③ JR 木ノ本駅 ② JR 今庄駅
- 参加費 (A) 4,000 円 (B) 3,500 円
 共に弁当付き

■ 申込み・問合せ
 余呉地域づくり協議会 宿場コネクト事務局
 TEL 0749-86-8037 (平日午前 9 時 ~ 午後 5 時)
<http://yogochikidukuri.com/syukuba-connect/>



申込締切
 8 月 31 日 (金)





地域包括支援センターです

■ 問合せ 地域包括支援センター(保健福祉課内) ☎ 47-8009
 社会福祉協議会地域包括支援センター(今庄福祉センター2階) ☎ 45-1170
 // 河野支所(河野保健福祉センター1階) ☎ 48-2260

南越前町認知症初期集中支援チームが発足しました

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることができるよう、認知症の早期診断、早期対応に向けて「南越前町認知症初期集中支援チーム」が発足しました。まずはお気軽にご相談ください。

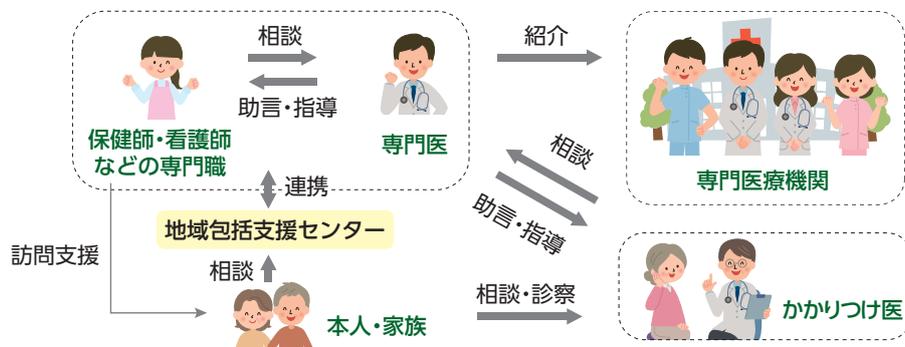
「そうだ/
相談してみよう！」



「認知症初期集中支援チーム」とは？

認知症またはその疑いがある方で受診につながらないなど、対応に困っている方に対して専門職チームが訪問し、医療や介護サービス等の導入につなげるなどの支援を集中的に行います。

【認知症初期集中支援チームのイメージ図】



対象となる方は？

在宅で生活している40歳以上の方で、認知症またはその疑いがあり下記の①～③いずれかに該当する方。

- ① 認知症の診断を受けていない、または治療を中断している
- ② 医療や介護保険のサービスにつながらない、または中断している
- ③ 認知症の症状の対応に困っている など

流動創生

8月11日から8月19日までの期間で、町内滞在企画 StopOver24 夏合宿を開催しました。「多拠点暮らしの知識・技術を身につける1週間」として、東京や大阪などから7名の方にご参加いただきました。町内で行われた盆踊り大会準備の手伝いや、ハウスでの農作業を体験しました。地域の方々も快く対応してくださり、参加者の方は短期間でも地域と関わることができ、他ではない経験ができたと感じたようです。町外からやって来た人間をおおらかに受け入れてくれる土壌がある南越前町に、参加者の方々も「また来たい」と話してくださいました。



盆踊り大会準備



農作業



～認知症について学んだよ～

7月31日から8月3日にかけて町内4か所の児童館で「認知症キッズサポーター養成講座」が実施されました。まず、認知症という病気は高齢者に多く、もの忘れが増えて毎日の生活が不便になることや記憶の仕組みと認知症によるもの忘れについて箱とボールを使って理解しました。次に、寸劇で認知症の方への接し方などを見ることで、病気があっても周りの接し方次第で良くなることを学びました。講座終了後のアンケートでは「怒らずにやさしく接したいです」、「おじいちゃん、おばあちゃんとたくさん話そうにしたいです」等の感想があり、認知症への理解を深めることが出来ました。ちょうど、中学2年生の職場体験も実施されており、中学生は講座の手伝いや寸劇に出演するなど大活躍でした。



■ **問合せ** 地域包括支援センター（保健福祉課内） ☎ 47-8009
 社会福祉協議会地域包括支援センター（今庄福祉センター2階） ☎ 45-1170
 // 河野支所（河野保健福祉センター1階） ☎ 48-2260

南越前町地域おこし協力隊活動 NEWS

☆「第3回いい街発見！地方の暮らしフェア」（名古屋）出張移住相談会

移住促進担当の門田隊員が、7月16日に名古屋で開催された「第3回いい街発見！地方の暮らしフェア」にて出張移住相談会を実施しました。

「福井県は知っていたけど、南越前町は知らなかったので知れてよかった」、「絶対に今度、南越前町行きます」などのお声をいただき、移住の選択肢として南越前町を知ってもらえる機会になりました。

☆南越前町観光連盟 Instagram、Facebook ページ作成

観光担当の北村隊員が、南越前町観光連盟のInstagramとFacebookページを立ち上げました。SNSの活用率が高い若年層にも南越前町に興味をもって町を訪れてもらえるよう、町の景色、文化遺産、おススメのお店等の魅力を発信していきます！写真撮影のご協力をお願いすることもあると思いますのでよろしくお願いします。

◆ Instagram 「minamiechizen_kankou」

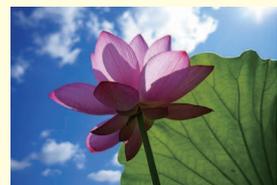
https://www.instagram.com/minamiechizen_kankou/?hl=ja

◆ Facebook 「南越前町観光連盟」

<https://www.facebook.com/minamiechizenkankourenmei/>

フォロー、いいね！👍 よろしくお願ひします！

■ **問合せ** 観光まちづくり課 ☎ 47-8013



戸籍の窓

人口と世帯 (平成 30 年 10 月 1 日現在 () は前月比)

総人口: 10,716 人(-11) 男 5,165 人(-5) 女 5,551 人(-6) 世帯数: 3,466 世帯(-3)
 [内、外国人: 66 人(±0) 男 18 人(+1) 女 48 人(-1) 外国人世帯数: 35 世帯(+1)]

お誕生おめでとう



受付 平成 30 年 9 月 1 日 ~ 9 月 30 日



八乙女	上別所	旭今庄	北府	糠	八飯	馬上免	大門	お く や み 申 し 上 げ ま す
池川	井上	山田三千代	本多	竹内ふみゑ	寺木	鈴木	高橋タミエ	
和男さん	直樹さん	靖彦さん	靖彦さん	忠さん	澄子さん	澄子さん	澄子さん	
91歳	79歳	88歳	85歳	92歳	87歳	91歳	96歳	

南越前町地域おこし協力隊活動 NEWS

○旧玉村邸活用プロジェクト

旧玉村邸活用プロジェクトとして、今庄宿内にある空き家を活用し、町内と町外の方が交流できるコミュニティスペースと宿屋の開業を目指し、昨年 4 月から活動しています。現在の取り組みをご紹介します。



<コミュニティスペース・宿屋の開業準備>

平成 29 年度は旧玉村邸活用のため、運営計画策定・改修設計を行いました。現在は改修工事が着工しており、平成 31 年 1 月下旬の開業を目指しています。

コミュニティスペースは、宿屋としての営業時間を中心に、地域の方と滞在者の方が交流できる場所として整備する予定です。

宿屋は、客室 3 室(最大 8 名宿泊可)での営業を予定しており、宿泊だけでなく、地域資源を活用した体験プログラムを提供する予定です。

<体験プログラムの企画・運営>

昨年度から体験プログラムを試験的に企画・運営しており、参加者の評価が良かった体験プログラムは開業後も継続して提供していきます。試験実施した企画の中では、南越前町ならではの「花ハス収穫」「梅収穫」「つるし柿体験」「酒蔵体験」などが評判が良い様子です。これら以外にも地域の方々と協力し、リアルな地域を体験いただける企画を作りたいと考えています。



また、京都からタイ式リラクゼーションセラピストにお越しいただき開催している「ほぐし屋さん」は、改修工事中は昭和会館で開催し、開業後は旧玉村邸で引き続き開催する予定です。そして、11 月からは、つるし柿体験や酒蔵体験を実施する予定です。町内の方もご参加いただけますので、ぜひご参加ください。



<各企画の詳細> 詳しくは、こちらをご覧ください。

旧玉村邸活用プロジェクト(地域まるっと体感宿 玉村屋) <https://tamamura.jp/>
 フェイスブックページ <https://www.facebook.com/tamuraya/>

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013



地域包括支援センターです

■ 問合せ 地域包括支援センター(保健福祉課内) ☎ 47-8009
 社会福祉協議会地域包括支援センター(今庄福祉センター2階) ☎ 45-1170
 // 河野支所(河野保健福祉センター1階) ☎ 48-2260

～文化祭活動報告と「介護者のつどい」お知らせ～

今年も地区の文化祭会場で「脳年齢チェック」と「からだ年齢チェック」等を通じて認知症予防に向けての啓発活動をしました。この「脳年齢チェック」を毎年楽しみにしていらっしゃる方は、「去年より若くなった」「今年はちょっと(?)悪かった。」と結果を見ながら、一喜一憂され、職員からの生活での予防のポイントについて熱心に耳を傾けていました。

認知症について心配なことや、介護方法等について分からないことがあれば気軽に地域包括支援センターまでご相談ください。また12月には男性介護者を対象とした「介護者のつどい」もありますので、是非ご参加ください。



▲南条地区文化祭の様子

「男性介護者のつどい」お知らせ

日時 12月15日(土) 午後1時30分～午後3時30分
会場 南条保健福祉センター
対象者 在宅で介護している男性介護者等 10名
内容 ①講義 「終活のいろは」(仮)
 講師 司法書士 浅井 正勝氏
 ②座談会(*会場はカフェランクに移ります)
参加費 500円
申込先 南越前町地域包括支援センター
締切り 12月5日(水)



流動創生

ワゴンで複数地域を駆け抜ける地域巡業キャラバン企画 RoundTrip 2018。今年で5回目の開催となります。今回は10月6日から10日までの5日間で、東京などから6名の方が参加し、南越前町から奈良県桜井市、兵庫県豊岡市の3か所を巡りました。

南越前町では宅良地区の運動会に前日準備から参加し、当日は助っ人として一緒に競技に参加して地域の皆さんと交流を深めました。運動会でスマホを使った動画教室も開催しました。桜井市では古本市と空き家の畳上げを手伝い、豊岡市ではゲストハウス開業のための情報収集のお手伝いをしました。地域に観光とは違った視点で関わり「旅する〇〇」と題して活動してみることで、参加者は多拠点暮らしのライフスタイルを体感しました。

活動詳細については、流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生 検索 <https://www.facebook.com/ryudouousei>

■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013



南越前町 宅良地区運動会



桜井市 空き家の畳上げ



豊岡市 市街地フィールドワーク



地域包括支援センターです

■ 問合せ 地域包括支援センター(保健福祉課内) ☎ 47-8009
 社会福祉協議会地域包括支援センター(今庄福祉センター2階) ☎ 45-1170
 // 河野支所(河野保健福祉センター1階) ☎ 48-2260

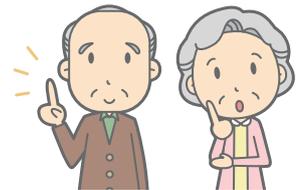
仕事と介護を両立するためのポイント～家族の心構え～

介護は誰もが直面する可能性があり、「介護への事前の備え」はとても重要です。「老後の生き方」や「介護が必要になった場合の暮らし方」について、どのような考えを持っているのかは、家族が知っておきたい情報です。

そこで、子供から親に確認しておくことの一部をご紹介します。

【親の老後の生き方の希望について】

- ◆ 介護が必要になった場合、誰とどのように暮らしたいのか
- ◆ 子供に介護してもらうことへの抵抗感の有無
- ◆ 在宅介護サービスを利用するのか ◆ 介護施設に入居するのか
- ◆ 最期はどこで暮らしたいと思っているのか ◆ 延命治療を希望しているのか



【親の生活環境や経済状況について】

- ◆ 親の1日、1週間の生活パターン
- ◆ 高齢になって、生活上困っていること不便に感じている場所(玄関の段差等)
- ◆ 親の経済状況 ◆ 親の財産 ◆ 大切な書類
- ◆ 親の趣味や楽しみ ◆ 親の好きな食べ物 ◆ 近所の友人や地域仲間の名前・連絡先
- ◆ 地域の民生委員や配達員など、家族や友人以外での親の安否を確認できる人の有無・連絡先

親が元気なうちには、「親に介護が必要になったらどうするのか」といった話題は親子間で切り出しにくいものです。そこで、まずは親が介護保険の保険証が届く65歳を迎えたとき、あるいは家族が介護保険料を納付し始める40歳を迎えた時などに、将来のこと、介護のことについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

《厚生労働省ホームページ：仕事と介護の両立支援より》

南越前町地域おこし協力隊活動 NEWS

●旧玉村邸活用プロジェクト

<プレオープンイベント>

日時 1月26日(土) 午前10時～午後5時

場所 旧玉村家(南越前町今庄82-10)

*プレオープンイベントでは和風雑貨などの販売やトークショーなどを開催します。みなさん、ぜひお越しください。

*正式オープン(宿屋としての営業開始)は2月下旬を予定しております。

●地域実地体験企画「Local-Practice23 田舎の仕事人シリーズ～褐色に輝く、つるし柿～」開催

町外に向けて地域資源を活かした魅力あるコンテンツを提供し、来訪に繋げるきっかけの一つとして、今庄つるし柿づくり体験を開催しました。11月3日から12月7日の期間で、延べ60名の方が参加され、柿の収穫、皮むき、燻した柿の揉みほぐしなど、今庄つるし柿の生産過程を体験していただきました。

参加者からは「今庄のつるし柿を作る全ての工程を体験できたことは大変貴重な体験でした」「燻されたつるし柿を初めて食べたが美味しかった。自分の周りにも紹介したい」との感想があり、満足された様子でした。

<各企画の詳細はこちら>

旧玉村邸活用プロジェクト(地域まるっと体感宿 玉村屋) <https://tamamuraya.jp/>
 フェイスブックページ <https://www.facebook.com/tamamuraya/>

■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013





南越前町保健推進員です。私たちは、南越前町にお住まいの皆さんが健康に生活できるよう、お手伝いをしています。

※「がんスタ」とは「がん予防スタートプロジェクト」の略で、がん予防を目的に、平成29年度からスタートしている南越前町独自の取り組みです。

日本人の男性にも前立腺がんが急増しています！

□ 前立腺はどんな臓器？

前立腺は男性のみにある臓器です。膀胱の下に位置し、尿道の周りを取り囲んでいます。大きさは栗の実くらいで、形も栗によく似ています。

□ 前立腺がんはどんな病気？

前立腺がんはもともと欧米に多い傾向にありましたが、近年では日本でも罹患数が増加しています。前立腺がんは高齢の男性に多いがんです。他のがんに比べて比較的進行が遅いのが特徴ですが、男性のがん死亡数全体の約5%を占めているため注意が必要です。

□ 前立腺がんの症状は？

初期には多くの場合自覚症状がありません。がんが大きくなり尿道が圧迫されると、尿が出にくい、尿の回数が多い、尿が残った感じがする、夜間の尿の回数が多いなどの症状が現れます。ただし、これらは前立腺肥大症でも起こるものであり、前立腺がん特有の症状とは言えません。

□ 前立腺肥大症とは？

前立腺肥大症は、前立腺の細胞数が増加する良性の病気で、高齢者に多い傾向があります。症状としては、前立腺がんに似た排尿の症状があります。前立腺がんと同時に起こることもあります。

□ 前立腺がん検診はどんな検査？

血液を採取し、前立腺から分泌される PSA という物質を調べます。PSA は前立腺に異常があると血液中の量が増えるため、検査の指標として用いられています。**検査は 50 歳以上の方が対象**で集団健診でも受診が可能です。



■ 問合せ 保健福祉課 ☎ 47-8007

南越前町地域おこし協力隊活動 NEWS

南越前町移住定住支援サイト「南えちぜん暮らし」開設

移住促進担当の門田隊員が中心となり、移住希望者向けのホームページを開設しました。

当サイトは住まい・仕事・子育てなど移住する際に必要な情報はじめ、「移住者 voice」や「みんなで作る Q & A」など南越前町の暮らしの魅力を紹介するものです。ぜひ一度ご覧ください。

<https://www.minamiechizen-iju.jp/>



～ホームページ開設に伴い、掲載者を大募集～

【南越前町企業情報】

移住希望者向けに町内企業の求人情報を掲載します。掲載を希望される事業者を募集します。

対象 町外からの移住者を採用可能な町内事業者

掲載料 無料

※南越前町での日々の暮らしを紹介する「移住者 voice」に投稿していただける、町外から移住された方も募集します。

■ 申込み・問合せ 観光まちづくり課 地域おこし協力隊 門田 ☎ 47-8013

南越前町地域おこし協力隊活動 NEWS

旧玉村邸活用プロジェクトとして、今庄宿内にある町所有の空き家を活用し、地域資源を活かした体験イベントなどを開催してきました。この度、町内と町外の方が交流できるコミュニティスペース&宿屋として開業しました。

1月26日 プレオープンイベント

オープンに先立ち、建物内部のお披露目を兼ねたプレオープンイベントを開催しました。イベントでは町内外の玉村屋協力者9名による得意分野トークや、6店舗から手作り商品などを販売するマルシェが出店されました。町内外から約80名の方にお越しいただき、「生まれ変わった旧玉村家にお客さんがたくさん来ていいね」、「お手伝いできることがあれば一緒に盛り上げていきたい」という声をいただきました。



2月12日 オープン式

関係者や近隣住民の方をお迎えしたオープン式を開催しました。関係者約50名が出席し、テープカットの後、施設内で式典、内覧会を行いました。



▲キッチン壁画前で関係者らと記念撮影

前所有者の奥様(玉村順子さん 神奈川県在住)よりいただいたお祝いのお手紙

玉村の名を残して頂きたい。あんなに誇りに思っています。心より厚くお礼申し上げます。皆様のご努力が着実に花開きつつあるように感じます。中飛躍をお祈り申し上げます。今後とも玉村家をよろしくお願ひ致します。

<施設概略> 地域まるっと体感宿 玉村屋

1階：コミュニティスペース、2階：客室3部屋(宿泊最大7名)

<運営主体> 一般社団法人 ぷらすたいむず(Tel 67-3185)

地域おこし協力隊の中谷隊員が、平成31年3月末の任期終了後に地域資源を活用した事業を継続して実施するために設立(平成30年9月19日登記)した団体



検索

<https://www.facebook.com/tamamuraya/>



流動創生

南越前町に滞在し活動する StopOver イベントを通し、平成30年の1年間に6回も南越前町を訪れている湯村さん。普段は東京の町工場に勤務する会社員ですが、休みを利用して度々訪れています。

農作業のお手伝いや、地区運動会への参加などを通して地域の方々と仲良くなり、「また来たのか〜!」と声をかけてくれることが嬉しいと湯村さんは話してくれました。地域の方も、湯村さんが来ることを楽しみにする、という関係性が生まれています。

月刊「ソトコト」3月号(2月5日発行)に流動創生の取組みが6ページにわたり紹介されました。観光や定住だけでなく、地域と地域外の方の多彩な関わりが注目されています。

流動創生

検索

<https://www.facebook.com/ryudousousei>

問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

